

平成31年2月5日 公表

平成30年度 第2回グループ内取引等適正化委員会議事録

開催日及び場所	平成30年12月10日(月) 中日本高速道路(株)東京支社会議室	
出席委員	委員長 伊達 弘彦(弁護士) 委員 依田 照彦(早稲田大学名誉教授) 委員 相関 透(公益財団法人公正取引協会 常務理事)	
審議対象期間	平成29年4月1日～平成30年3月31日	
会社名(発注者)	抽出件数	(備考)
中日本高速道路(株)	4件	料金収受業務・交通管理業務・保全点検等業務・維持修繕等業務(子会社契約)
中日本エクストール名古屋(株)	1件	清掃業務(見積競争)
中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋(株)	1件	保全点検等業務(見積競争)
中日本ハイウェイ・メンテナンス北陸(株)	1件	維持修繕等業務(見積競争)
中日本ロード・メンテナンス金沢(株)	1件	維持修繕等業務(特命契約)
委員からの意見・質問、それに対する回答等	(別紙のとおり)	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	本日の審議に付されたものについては、適正であることを確認した。	
備 考	見積の辞退があった場合、今後の参考にするため、可能な限り辞退の理由を聞くのが望ましいとの意見があった。	

別記様式第1号の別添

委員からの意見・質問、それに対する回答等

抽出案件の審議	
<p>(1) 発注者：中日本エクストール名古屋（株） 内 容：大垣営業所管内清掃業務 契約方法：見積競争</p>	
意見・質問	回答
<p>見積競争と見積金額の妥当性の確認はどのように行っているか。</p>	<p>見積を辞退した者を除き、最低金額を提示した者の見積について、過去の同種業務の契約単価と比較し、単価の妥当性も確認している。</p>
<p>(2) 発注者：中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋（株） 内 容：施設保全管理業務 契約方法：見積競争</p>	
意見・質問	回答
<p>見積依頼先はどのように選定しているか。</p> <p>複数年契約はコスト削減になるのか。</p>	<p>本業務の実施地域で過去に同社との契約実績がある会社の中から選定している。</p> <p>複数年契約を見積条件として提示することにより、作業機械や現場事務所等に要するコストが削減され、見積金額に反映されるものと考えている。</p>
<p>(3) 発注者：中日本ハイウェイ・メンテナンス北陸（株） 内 容：立木伐採作業 契約方法：見積競争</p>	
意見・質問	回答
<p>見積競争を辞退した者に対して、辞退理由の聞き取りを行っているか。</p> <p>見積金額の妥当性をどのように確認しているか。</p>	<p>技術者を配置できないためと聞いている。</p> <p>提出された見積書について詳細の内訳を確認し、妥当性を確認している。</p>